

民間軍事警備会社の戦略的意義

——米軍が追求する21世紀型軍隊——

ISBN978-4-8295-0649-3

佐野秀太郎 (防衛大学校教授) 著 A5判上製本 410頁 本体 5,800円

佐野 秀太郎 (さの しゅうたろう)
1964年東京都生まれ。現在、防衛大学校防衛学教育学群教授。
1989年に、防衛大学校国際関係論学科を卒業後、富士学校総合研究開発部、幹部候補生学校、研究本部など、陸上自衛隊の教育・研究機関を中心に勤務。米ハーバード大学ケネディ行政大学院(1995年)及び防衛大学校総合安全保障研究科(2007年)で修士号、同研究科(2013年)で博士号を取得。2002年に指揮幕僚課程を卒業。

基地支援、警護・警備、通訳、兵站支援、通信など非戦闘活動を請け負う民間軍事警備会社(PMSC)はいまや米軍の部隊規模を上回るほど大きな存在になっている。イラク、アフガニスタンでの事例を徹底検証し、その影響力の大きさと米軍のあり方を分析した論考。

序章 なぜPMSCか/PMSCの持つ新たな側面/既存の議論の限界

第1部 変幻自在のPMSC

第1章 PMSCの捉え方とその限界

- 第1節 用語の定義及び概念区分
- 第2節 PMSCを巡る様々なイメージ
- 第3節 分析対象選定の理由
- 第4節 データ源と研究上の制約事項

第2章 PMSCとそれを取り巻く安全保障環境

- 第1節 新たな安全保障環境に存在するPMSC
軍事力の「新たな役割」と米軍のフルスペクトラム作戦/米軍のフルスペクトラム作戦のなかで問われるPMSCの役割
- 第2節 恒久化しつつあるPMSC産業
変容を繰り返すPMSC/困難を極めるPMSCの規制状況

第3章 米軍の戦略的行動を反映した視座

- 第1節 米軍の戦力投射に着目することの意義
戦力投射の重要性/戦力投射の定義
- 第2節 軍事力を行使する際の基本的要素とPMSC
国家の外交政策の推進(軍事力行使の目的)/軍の即応性の発揮(軍事力行使の対応要領)/軍事作戦の正当性の確保(軍事力行使の道義・合法的基盤)

第2部 イラク及びアフガニスタンにおける事例検証

第4章 米国の外交政策に寄与するPMSCの役割と課題

- 第1節 米軍の影響力を促進するPMSCの戦略的役割
PMSCの活用による政治的・軍事組織的制約の克服/現地における政治的・軍事的影響力の保持
- 第2節 米軍の戦略的課題を克服できないPMSC
低姿勢のプレゼンスを維持できない軍のディレンマ/払拭されない

ない支援の継続性を巡る懸念

第3節 作戦遂行を左右するPMSCの作戦・戦術的影響
軍の戦闘行動への専念を可能にするPMSC/軍の負担を増大させるPMSCの安全確保問題

第5章 米軍の即応性を向上させるPMSCとその限界

- 第1節 PMSCが寄与する短期・中期的な役割
軍の初動対処を高めるPMSC/継続的な軍事作戦を可能にするPMSC
- 第2節 PMSCを巡る米軍の中期・長期的な課題
容易に解消されない作戦の長期化の影響/PMSCへの長期的依存を巡る懸念

第3節 軍の即応性に及ぼすPMSCの作戦・戦術的影響
部隊の士気を左右するPMSCの存在/軍の迅速な行動を阻害する構造的相違と契約構造

第6章 軍事作戦の正当性を向上させるPMSCとその問題点

- 第1節 米軍及びPMSCの正当性を裏付ける基盤的要素の曖昧性
軍の作戦を巡る脆弱な活動基盤/PMSCの正当性を巡る曖昧な法的基盤とダブル・スタンダード
- 第2節 米軍の正当性に寄与するPMSCの活動成果と限界
PMSCを積極的に活用する軍/PMSCの活動成果を阻害する身元調査と違法行為

第3節 PMSCを巡る賛否両論
諸刃の剣として捉える現地政府及び住民/不易流行のものとしてPMSCを捉える米軍及び議会/米国の状況を見定める英軍

第7章 PMSCを巡る米国のリスク軽減施策とその限界

- 第1節 PMSCの規制に本格的に取り掛かる米議会
- 第2節 PMSCの規制強化を図る米軍
- 第3節 残存する請負業務及び支援体制上の課題
請負業務の管理・監督の枠組みを巡る問題/請負業務の遂行要領を巡る問題/軍の支援体制を巡る問題

終章 米軍における新たな軍の在り方の台頭/今後の研究課題

5月中旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 5月4日(月) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版
〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
民間軍事警備会社の戦略的意義		
5月新刊 本体5,800円	部	